

はしがき

本報告書は、平成22年度、株式会社アンジェロセックが、外務省から実施を委託された「日本 NGO 連携無償資金協力の評価」について、その結果をとりまとめたものである。

日本の政府開発援助（ODA）は、1954年の開始以来、途上国の開発及び時代とともに変化する国際社会の課題を解決するために寄与しているが、今日、国内的にも国際的にも、より質の高い、効果的かつ効率的な援助の実施が求められている。外務省は、ODA の実施管理とアカウンタビリティの確保という二つの目的から、主に政策レベルにおいて ODA 評価を行っており、その透明性、客観性を図るとの観点から第三者評価を実施している。

本件評価調査では、日本 NGO 連携無償資金協力援助政策全般をレビューし、グッド・プラクティスや問題点を明確にすることで、今後のスキーム全体の改善に役立てるための教訓を得て提言を行うこと、さらに評価結果を広く公表することで説明責任を果たすことを目的として実施した。

本件評価実施にあたっては、専門的な立場から早稲田大学の山田満教授に評価主任として、また、お茶の水女子大学の桑名恵講師にアドバイザーとしてご参加頂き、多大な協力を賜った。また、外務省、独立行政法人国際協力機構（JICA）、現地 ODA タスクフォース関係者はもとより、現地政府機関や各ドナー、NGO関係者等、多くの関係者からもご協力を頂いた。ここに心から謝意を表したい。

最後に、本報告書に記載された見解は、日本政府及びその他関係機関の立場を反映するものではないことを付記する。

平成23年3月